

医療連携だより



専門外来特集

今回は、当院で行っている専門外来についてご紹介します

～開設のおしらせ～

その1 乳腺外来

担当医 外科・菊池 淳

診察日 毎週水曜日 14:00～16:00



10月6日(水)より、精密検査や二次検査を勧められた方、乳がんに関して相談したい方など、乳房のことで気になる症状をお持ちの方の診察を行います。また、授乳期の乳房の問題にも助産師と共に対応いたします。女性技師による撮影が可能です。是非ご利用ください。



※診察は原則予約が必要です。詳しくは、外科外来へお問合せください。

その2 肛門外科

担当医 外科・村澤哲也

診察日 毎週木曜日 8:30～11:30

肛門外科外来では、幅広くお尻の病気を治療しており、主なものに、痔核（いぼ痔）裂肛（切れ痔）、肛門周囲膿瘍・痔瘻（肛門周囲に膿がたまる状態）・直腸脱（肛門から直腸が脱出する状態）があります。

痔核は肛門粘膜が腫れた状態で、痛みが生じたり、肛門から脱出する場合もあります。治療法は軟膏による保存的治療と手術（粘膜を固める注射のみの方法と、注射と粘膜を切除する方法）があります。

裂肛は肛門が狭く便秘の方に多く、排便時の痛みと出血が多いです。急性期では軟膏や排便管理等を行いますが、改善しない場合、肛門を拡張する手術が必要となります。

肛門周囲膿瘍は肛門周囲に膿がたまる状態で、膿を出させることで症状が改善します。再発を繰り返すと、痔瘻といって肛門とお尻の皮膚に瘻管（細菌の巣）が形成され、手術が必要となります。

直腸脱は肛門から直腸が脱出する状態で、中高年以上の女性に多く、出産や加齢または不適切な排便習慣（排便時間が長い）等が原因とされています。経過観察も可能ですが、治療法は手術が基本となります。

患者さんのご希望や全身状態を考慮して、最善の治療方法を選択します。肛門の診察は抵抗があると思われるかもしれませんが、もしお尻でお悩みであれば、お気軽に受診してください。



その3 糖尿病代謝科

担当医 内科・仲地紀勝

診察日 毎週火、木曜日 13:30~

内科外来において、高血圧症、脂質異常症、糖尿病を診ていらっしゃる先生方が多いと思います。特に糖尿病患者さんにおいては、自覚症状が無い方が多く治療の必要性を理解できない、しない方が多数おります。その為にコントロールが難しかったり、困っている患者様がいます。

当院では、外来・入院において、チーム医療（薬剤師、検査技師、管理栄養士、理学療法士、看護師など）で対応し、その人に合った治療を提供できるように取り組んでおります。

糖尿病療養指導士である看護師が、診察前の聴き取りおよび指導などを行っておりますので、深い介入ができます。

また糖尿病教育関連施設でもあり、岩手医科大学糖尿病代謝科の教授の診察応援をいただきながら診療を行っております。

最後に、高血糖以外でも難しかったり、お困りの患者様のご紹介をお待ちしております。



※診察は原則予約が必要です。医療機関からご紹介いただく場合は、医療連携室へFAXにてお申込みください。

【おねがい】

- 医療機関からご紹介いただく場合は、あらかじめFAXによる診療申込をお勧めしております。
- 当日のご紹介につきましては、直接診療科の医師へご一報のうえ、FAXをお送りください。



患者様がスムーズに診察を受けていただけるよう、ご協力をお願いいたします。

奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833 (内線257)

FAX 0197-25-4012 (医療連携室直通)

ホームページ <http://www.mizhsp-iwate.jp>



《奥州市総合水沢病院基本理念》

「市民に身近な医療を提供する病院」「健全を基盤に活力のある病院」

【方針】 「市民と職員との心の通い合う医療を目指して」

1. 患者様最優先の医療サービスを志します
2. 市民の健康を増進する医療サービスに努めます
3. 最善かつ負担の少ない医療を提供します
4. 医療水準の向上に努め、安心安全を提供します
5. 地域の各医療・保健・福祉機関等と連携します